丹沢 玄倉川 小川谷廊下
2009/8/30
メンバー：L．平本、金井、神戸、池田、山本、奥平 (記)

暑いので沢に行きたいが土曜日に用事があり、平本さんが日曜募集していた小川谷廊下が魅力的なので参加することにした。久しぶりに行った小川谷はかなり埋まっていたが巻かずに水線通しで行くと難しい部分もあり楽しめた。

当日の朝、松田駅に 8 時集合、２台の車に分乗して玄倉から小川谷林道を通って終点まで。林道を少し戻りながら沢に入り、堰堤をいくつか下りて行く。

５mチョックストーン滝、濡れに来たのだけれどそばに寄ると意外に登るのが難しそう。濡れる時間が長くなりそうで気が引ける。水流にシュリンゲが残っておりこれが使える。ショルダーも使えば十分通過可能と思い、率先して中に入ってメンバーの通過を促す。池田さん、遠慮はいらないから早く私を踏んで登ってください。ぐずぐずしているとスタートで風邪をひいてしまう。

直登はちょっと難しい滝８mは右から巻けるが、金井さんがリードに執着して取り付く。ビレイの平本さんと意気が合わず登れず戻ってきたところ、山本さんが立ち上がり華麗に通過する。フエルト底なのにやりますね。ところで、普段悪名高いラバーソールの沢靴はこの沢では相性が非常に良い。この調子でつるつるの岩も登れるのかと期待したがそれは無理だった。左のシュリンゲを利用しながら、ここも皆難なく通過する。２０M滝は難しそうなので少し戻ったところから小さく巻く。最後の滝は自信がない人には補助ロープを出したりしながら快適に登る。壊れた堰堤を越えて山道に入り下山。

晴れた日に入る小川谷はやっぱり楽しく期待を裏切らない。

コースタイム：
8/30（日）
9：30 駐車場発
11：25 トラバースＡ０の滝、ロープ出し左岸を巻く、山本さん華麗に通過、このあと小雨が降ってくる
12：50 ロープ出して左から巻く大滝の上で休憩、晴れ
13：30 堰堤
14：30 駐車場

地形図：中川